

一般質問



徳田 議員

○道の駅的直売所の設置について

質 福島にある漁協の直売所海の駅は、毎朝行列ができるほど人気があります。しかし、中は狭くて非常に混雑しています。毎週日曜日の午前中には農産物販売「うるうる福島」も行われていますが、来客者が不便を来しております。直売所整備の要望もされておりますが、その後どうなっていますか。

答 現在、施設の規模等について最終の事業計画案をまとめているところです。運営コストや採算性から面積約120平方メートル規模の施設を現在地と同じ場所に設置し、公設民営の指定管理者制度を導入する計画です。関係機関との協議を行い、28年度に調査設計に着手したいと考えております。

○市道整備について

質 市道整備の進捗状況についてお尋ねします。

急カーブが多い祝崎新田線では先日交通事故が発生し、4人が負傷し3台の救急車で搬送される事態があ

りました。早急な改良を再度お願いします。

福島の中心地に通じる市道力キビ日の浦線は、一部が狭あいでの危険な状態にあります。港湾への連絡道でもあり、安全な通行を確保するためにも改良する考えはないか。

また、市道尊光寺線は、以前側溝整備とカーブ個所の改良をお願いしていたが、一昨年には付近で火災が発生し消防車も渋滞で現場に到達できない事態まで生じている。問題となっていた用地の目途がついたと聞くが、早急に改良は出来ないか。

答 市道力キビ日の浦線については、先に区長会からも要望がありました。が、現道幅員が4メートルあるうえに普段の交通量も少なく、今後増加することも見込めないことから、早急に改良することは難しい旨をお答えしております。

市道尊光寺線に関しては、地域のご努力によりまして用地の問題も解決しそうだということをお聞きしております。今後、登記事項等を確認しながら、カーブ改良と側溝整備の事業計画について地域との話し合いを進めていきたい。

一般質問



山崎 議員

○松浦高校のこれからについて

質 11月5日の新聞に2016年度公立高校進学状況が掲載されていましたが、松浦高校は120人の定員に対し志願者63人と少なく、市内唯一の高校として存続の危機感を感じました。そこで松浦高校存続のための提案をしたいと思いますが考えをお願いします。

本市は地形的に通学に厳しいところがあります。生徒のための寮があれば離島からの入学の可能性が広がります。また、体験型修学旅行で本市を訪問した中学生に地方留学を呼びかけることもできますがどのような考えですか。

次に、学力が高い高校を入学希望者は選択します。政策として松高生が通う塾の経費を無料にしたかどうかと考えますがどうですか。

答 松浦高校への志願者数に関しては非常に危機感を抱いております。一般的な高校の選択条件としては、就職や進学の見通し、希望する部活ができるのかどうかの要件があると思います。通学時間が高校を選ぶ大きなポイントにもなっておりますの

で、寮を設けるとか下宿の対応をするなどの対策も講じる必要があると思います。そのニーズを把握し、松浦高校とも相談して市としても対応してまいりたいと考えます。あわせて学力向上の支援策については現在検討中です。補習の経費とか情報通信機器を使った学習経費など一定の支援策がまとまれば予算措置を行い実施してまいります。

○ふるさと納税パンフレットについて

質 ようやくふるさと納税のカタログが完成し、私としてもうれしく思っています。これからどのように活用するのですか。また、カタログの内容を携帯電話で見られるようなQRコード入りの名刺サイズのものをつくったらどうかと考えますがどうですか。

答 カタログについては、市内では松浦駅や松浦郵便局に、市外では市の福岡事務所、アンテナショップ、県の東京事務所に設置するとともに各種イベントの折に配布したりしております。今後も施設や企業を通じてPRしてまいります。QRコードに関しては、ご提案頂きましたような対応を進めてまいります。